

仲間作り教養コース ④国際社会学

EUのおいたち、経済状況&離脱問題

を考える

第二回

EUの成長・拡大期

—そこに潜んでいた危機

日時 10月13日(土) 10:00AM~

場所 鶴瀬公民館 第三集会室

講師 堀江 則雄 氏

受講生 32名

## 1. EUは国家連合か超国家か？

### ①EUの仕組み—条約によって出来

た組織

- ・ 欧州理事会(加盟国首脳)—最高機関  
EU理事会(閣僚理事会)—諮問機関
- ・ 欧州委員会(加盟国から各1人)  
—EU法律を議会に提案、政策を執行する政府。欧州委員会委員長がG7などに出席。

様々な分野の20前後の省庁を置く。

本部はブリュッセル。EU官僚は15,000人

公用語は26言語で、加盟国が平等に母語で意見を言えるように少数者の権利が保障されている。職員に、通訳・翻訳者を多数かかえている。

- ・ EUの予算は1,160億ユーロ(2013年)で日本円では約15兆円。
- ・ 欧州議会(定数は732人、加盟国が人口比で選出、任期は4年)ストラスブールに設置。



- ・欧州司法裁判所 EUの法律に合致しているかどうか判断。ルクセンブルグに設置。  
三権分立で、設置場所も各々異なる。

## ②発展と落とし穴

- ・加盟国の拡大(ヨコの広がり)加盟国数が6の原加盟国から現在は28カ国に拡大。別表による説明があった。
- ・経済的な拡大(タテの広がり)関税同盟・EEC→単一市場統合・EC→モノ・ヒト・カネ自由流通、共通政策・EU→経済通貨同盟・EUユーロ導入。  
→EU憲法(大統領、外相)導入に失敗→ギリシャ危機、各国で反EU勢力の拡大。
- ・共通外交政策=人権擁護を基礎に中東などで独自外交。
- ・移民・難民問題の展開=連帯を掲げ組織的な受け入れを図ったが国によって差があった。特にシリア内戦による難民数が500万人にも達し、危機感が生じる。異常な難民流入。



## 2. 体制転換と中東欧諸国への拡大

- ・東欧革命(1989年)欧州、ソ連間の分断線が崩壊。EUとNATOの並行拡大。
- ・加盟国の候補基準は法の支配、人権、市場経済化、EU法の具体化で判断。

2004年に8カ国加盟、2007年に2カ国加盟、2013年7カ国加盟、2カ国交渉中。



・経済格差=先行の加盟国のGDP平均を100として、一人当たりポーランドは42、ラトビア33→巨額のEUの産業支援金、農業補助金が使われる。

しかし、賃金は5分の1、6分の1という低水準に有り、出稼ぎとして移動。

イギリスは、拠出金の割合と比較すると自国の意見が反映されていないと批判。多国籍企業の進出。大量の出稼ぎ移民の流入、単純労働や周辺の役割に従事させられる二重構造。移民は二等市民扱い→不満が高まり不安定化。



## 講座 レジメ

### 第二回 EU の成長・拡大期——そこに潜んでいた危機

2018・10・13 堀江則雄

#### I、EU は国家連合か超国家か？ ①EU の仕組み

\*欧州理事会（加盟国首脳）=最高機関、年3回定期首脳会議

\*EU 理事会（閣僚理事会）=“諮問機関”、決定権も握る。

\*欧州委員会（加盟国から各1人）=EU 法律を議会に提案、決まった政策を執行する“政府”。様々な分野の20前後の“省庁”を傘下に置く。

本部はブリュッセル。EU 官僚“ユーロクラット”15,000人。公用語26。

\*EU 予算：1160億ユーロ（2013年）、約15兆円。

\*欧州議会（定数732人、加盟国が人口比で選出、任期4年）=法案や予算を審議し、決定する。ただし、予算と一部の法案はEU 理事会との共同決定となる。ストラスブール（アルザスロレーヌ地方）に設置。

\*欧州司法裁判所=個人の刑事扱わず。ルクセンブルクに設置。

#### II、EU は国家連合か超国家か？ ②発展と落とし穴

\*加盟国拡大（ヨコの広がり）。

=6→12→15→25→27→28。南、北、東欧、地中海。大きな南北、東西格差。

\*（タテの広がり）関税同盟・EEC→貿易増加。経済刺激→単一市場統合・EC→モノ、ヒト、カネ自由流通→共通政策・EU→農漁業、産業、運輸、エネルギーなどで共通ルール→経済通貨同盟・EU→ユーロ導入→EU 憲法（大統領、外相）導入に失敗→ギリシャ危機、各国で反EU 勢力台頭。

\*「共通外交政策」=人権を基礎に中東などで独自外交。

\*移民・難民政策の展開=連帯掲げ組織的受け入れ、各国に差。異常な難民流入。

#### III、体制転換と中東欧諸国への拡大

\*1989年の「東欧革命」で欧州の分断線が崩壊。EU と NATO 並行拡大。

\*加盟候補基準：法の支配や人権、市場経済化、EU 法の具体化で判断。

\*2004年チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、ポーランド、スロバキア、スロベニア（キプロス、マルタ）加盟。07年ブルガリア、ルーマニア、13年クロアチア。西バルカン6カ国、ウクライナ、ジョージア交渉。

\*経済格差、一人当たりGDPポーランド42、ラトビア33→巨額のEU 産業支援金、農業補助金。賃金は平均の五分の一、六分の一。多国籍企業進出。大量の出稼ぎ移民流出。いわゆる二重構造。